

ごあいさつ



組合員をはじめ地域のみなさまには、JAなんすんに対しまして、平素より格別なるご愛顧、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

本年も当JAに対するご理解を一層深めていただくため、主な事業の内容や組織概況、経営の内容などについて、分かりやすくまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。みなさまが当JAの事業を安心してご利用いただくための一助として、ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、TPP（環太平洋経済連携協定）が、昨年10月に大筋合意され、早期発効に向けて国会で審議されております。安全・安心な農畜産物を提供する日本の農業と国民の豊かな暮らしを守るため、今後の動向は楽観視できないものとして捉え、長期的にTPP対策に取り組んでまいります。

また、本年4月の改正農協法の施行や、マイナス金利政策の導入など、農業・農協を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。当JAにおいては農業者・地域との絆の強化のため、「農家組合員の農業所得の向上」・「地域社会への適切なサービスの提供」を重点目標とした「JAなんすん自己改革実践計画」を第22回通常総代会にて決議しました。「援農隊」や「農業経営支援制度」といった施策を拡充し、より組合員の要望に応えるための自己改革に取り組んでおります。

これからも、経営基盤の強化に努め、健全な業務運営を通じて、地域のみなさまに愛され、信頼されるJAを目指してまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

代表理事組合長

鈴木 道也